

教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ			
題名・副題	サトウキビをかじり、世界の今を知ろう ～サトウの大切さを知ろう～			
月日・時間	2020年1月25日(土) 10:00～12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 1F 会議室			
部会・講師名	グリーン部会 柳川三郎	参加数	18名	講師数 9名
写真				
	サトウキビと地球温暖化などを解説		サトウキビの皮をナイフで削り取る	
				
	親子でサトウキビの皮むき		皮むきサトウキビをかじる、甘～い!	
成果解説	<p>このサトウキビの環境講座は子どもたちの人気が高い授業です。今回は18名の子どもたちと保護者が参加しました。低学年生の参加が多く小学3年生以下が12名、4年～6年生が6名。</p> <p>授業は、画像を用いてサトウキビと地球温暖化の関係や環境問題について解説し、砂糖は脳活性のエネルギーになる健康の話、砂糖は地球上の熱帯から寒帯まで人が住むところで作られていることなども理解してもらいました。また、砂糖の原料はカエデの樹液、テンサイトウ、チクトウ、サトウヤシ、サトウキビなどがあり、砂糖の種類は真っ白な上白糖や角砂糖、氷砂糖、茶色い中ザラ糖、三温糖、黒い黒糖などがあることを砂糖の見本を手元に学習しました。</p> <p>授業のメインテーマは、始めに、ナイフでサトウキビの硬い皮を削り取る体験をしました。子どもたちはナイフの安全な使い方を教わり保護者と一緒に皮むきを体験、皮を剥ぎ取ったサトウキビにかじりつきました。サトウキビを何度も噛んで甘さを楽しみました。また、サトウキビのしぼり汁を参加者全員に味わってもらい砂糖原料の理解を深めました。授業の後、参加者した全員が、授業で使った砂糖の見本セット、サトウキビやサトウキビのしぼり汁を持ち帰りました。</p>			